

地域を理解し，地域を愛し，地域とともに力強く生きる児童の育成
- 総合的な学習の時間での「キッズマート」の体験活動を通して -

花巻市立湯口小学校 教諭 高橋 学

研究の目的

本校では，総合的な学習の時間で湯口の地域にかかわるふるさと学習に取り組んでいる。子ども達は，第5学年の「湯口のたからものマップを作ろう」で，地域の大切な場所や人々を訪ね触れ合う中で，湯口の地域をより身近に感じるようになった。また，運動会では，4・5・6年生で地域の伝統芸能である円万寺田植え踊りを踊ったり，1年生のときから全校で円万寺観音山に登りさまざまな体験をしたりすることにより，湯口を誇りに思い，大切にしようとする態度も育ってきている。さらに，昨年度の6年生が円万寺観音山にゆかりのあるチベット学の世界的権威の多田等観を取り上げ，調べ学習や演劇をする姿を見て，いろいろな視点から物事を見つめ，地域に情報発信する大切さも感じてきている。

本校では，平成15年度から経済産業省起業家教育促進事業にかかわる起業教育モデル授業として「トレーディングゲーム」に取り組んできている。そのねらいは，既成の概念にとらわれない新しいものの見方や考え方ができる創造力や判断力，人を説得し周りを巻き込んでいくコミュニケーション能力，新しいアイデアを実行するために必要なチャレンジ精神や決断力などの生きる力を育てるためである。

そこで，今年度はこれまでのさまざまな活動から一歩踏み込んで，起業教育の学習とふるさと学習を関連させ，地域の行事を盛り上げる体験活動を通して，地域のために自ら考え，進んで行動する実践力や，地域とともに生きようとする心情を育てようとするものである。

研究の仮説

起業教育のキッズマートの体験活動を地域の行事と関連させることにより，地域のために自ら考え，進んで行動する実践力や，地域とともに生きようとする心情が育つであろう。

研究の内容

1 キッズマートの体験活動の工夫

具体的実践

「起業教育」とは？

(平成16年度教育研究所発表会全体会「総合学習で取り組む起業教育」
東北経済産業局産業支援課課長補佐 黒瀬芳紀氏の講演資料からの抜粋)

起業教育では「起業家的な資質 = 生きる力」を育てる。

起業家精神を育むもの

チャレンジ精神，積極性，創造性，探求心，自信etc

起業家的資質・能力を育むもの

コミュニケーション力，チームワーク力，地域理解・郷土愛，情報収集力，分析力，実行力，判断力，リーダーシップ，プレゼンテーション力，問題解決力etc

1 年間活動実施暦（本実践にかかわる内容）

大テーマ 未来創造プロジェクト「めざせ 湯口の挑戦者たち」				
小テーマ 起業教育プロジェクト			小テーマ 円万寺プロジェクト	
月	学 習 活 動	時数	学 習 活 動	時数
4	リエンション・アンケート	1		
5			運動会に向けての円万寺田植え踊りの取り組み	7
6			多田等観研究 花巻市博物館見学（多田等観特別展）	3 2
7	租税教室 ドリームマップ	1 6	多田等観研究 （円万寺観音様夏祭りで研究発表）	1 3
8	湯口キッズマート出店計画	6		
9	八坂神社例大祭（秋祭り）に キッズマート出店 トレーニングゲーム	1 5 7	全校ふるさと学習「みんなで行こう観音山へ」（計画・実践・まとめ）	6
10	活動の振り返り 学習発表会総合学習発表練習	2 1 0		
11	ふるさと学習作文 自己評価	2 1		
2			5年生への田植え踊りの引継ぎ	3
小計	5 1		3 4	
合 計	8 5 / 1 1 0時間			

2 本実践に至るまでの経緯

- (1) 6月の運動会での「円万寺田植え踊り」の伝承活動を通して、伝統芸能の大切さを感じ取り、地域の一員としての自覚とふるさとを大切にしようとする心情が育った。
- (2) 7月に「ドリームマップ」に取り組み、将来なりたい自分像（夢）を明確にしたり、マップ作りや発表を通して自己表現したりする力が付いてきた。
- (3) 6月から7月にかけて「多田等観」について詳しく調べることにより、等観の偉大さや地域の方々の温かさを感じ取ることができた。
- (4) そして、...

7月14日に行われる円万寺観音様夏祭りの多田等観の無量壽碑前祭で、湯口公民館長の畠山博志さんに代わって等観の研究発表をしてみないかというお誘いを畠山さんご本人からいただく。

子ども達と話し合い、『夏祭りを盛り上げるために、わたしたちもお手伝いをしよう!』ということになり、研究発表を引き受けることにした。さらに、「せっかく発表するのだから、たくさんの人に聞いてほしい。」という意見が出され、案内チラシを作成し、一本杉から二ツ堰まで金管パレードをしながらチラシを配って歩いた。子ども達は研究発表に向け、新聞・パンフレット・クイズ・紙芝居・寸劇づくりなどに意欲的に取り組み、発表を成功させた。そして、地域の一員として活動できた喜びを十分に感じる事ができた。



ドリームマップ



多田等観研究発表

3 キッズマートの取り組み 「キッズマート」とは？

子ども達が自分達で計画，準備し，販売から会計まで実際に行う子どもの店のことである。

(1) 課題意識をもたせる(8月22, 23日)

夏休み明け。今度は，9月に観音山の八坂神社の例大祭(秋祭り)があることを知る。円万寺4地区(上円膝，下円膝，ニッ堰，中村)の総代などの代表と，その地区の子ども達，世話役の保護者など参加が限られているため，お客さんが少ないらしい。そこで，...

『夏祭りのときと同じように，わたしたちの力で秋祭りを盛り上げることができないだろうか?』

『たくさんの方が観音山に集まるように，自分達にできることをやってみよう。』

ということになった。

その方法として，子ども達から出されたアイディアは，次のようなものであった。

事前の取り組み.....チラシ配り，金管パレード，旗(のぼりを作る)

当日の取り組み.....屋台(出店)，金魚すくい，くじ，バザー(フリーマーケット)，もちつき，田植え踊り，金管，合唱

これらの中から，最終的にまとまったのが...

キッズマート(出店)に挑戦し，みんなの力で秋祭りを盛り上げよう。

であった。

各地区の総代さん方のご理解を得て，いよいよ出店準備が始まった。

(2) 出店の計画を立てる

ア どんなお店をやりたいか?，どんな店にしたいか?(8月24日)

お客さんがたくさん来る店，たくさんものが売れる店，お客さんが気持ちよく買い物ができる店

イ お店で売るものは?(8月24日)

地元のお店屋さんから仕入れた商品，地元の農家から仕入れた野菜や果物など

ウ グループ分け，仕入れ計画など(8月29~9月2日)

会社名	湯口キッズマート株式会社			
店名(人数)	湯口苑(10名)	湯の里屋(9名)	飲み物屋(9名)	ゆぐゆぐ市(9名)
商品 (店や商品のキャッチコピー)	心あったかタオル きらきらキーホルダー ネックレス プレスレット 耳かき	なつかしき, ふるさとの味! 湯の里大福 コーヒー大福 ブルーベリー大福 よもぎ大福 豆大福	乾いた体をうるおす, おいしいみんなの飲み物屋 お茶, コーヒー, ジュース, サイダー, スポーツドリンク	今が旬, 湯口直産名産特産, 新鮮さ 1りんご3兄弟(さんさ, 黄王, つがる)とうもろこし, 枝豆玉ねぎ
仕入先 (地区) 代表者	こぶし苑 知的障害者通所授産施設(神明) 増子義久さん	ゆの里食工房 (根岸) 中村ひろ子さん	畠山商店 (一本杉) 畠山福美さん	わく湧く市 (根岸) 澤田圭市さん
客をひきつける工夫	タオルを包む用紙に多田等観さんの絵 大きな店名の看板と目立つ商品名や値段のPOP	イメージキャラクター大福の大ちゃんと福ちゃんを描き, パッケージをくるむ	目立つ商品名や値段のPOP 90円の3本買ったら10円引のおまけつき	3種類のりんごを合わせて売る PRソング「りんご3兄弟」を考え歌う
多田等観の研究物の新聞, パンフレット, クイズ用紙を商品に添えて配布				
当日の様子	売れ行きが悪いと見るや, 呼び込みと売り歩き作戦に変更 最後に完売	呼び込みや接客の声に元気あり 17分で完売 すぐに他の出店の応援	呼び込みや接客の声に元気あり 2番目に完売	PRソングをテープで流す 品物の新鮮さを強調 3番目に完売

エ 仕入れ交渉と事前調査(9月5~11日)

湯口苑を除く3店は, 直接仕入先のお店や代表者の自宅に出向き, 仕入れる物と仕入れ値などを交渉した。(事前に子ども達の意向を聞き, 各店には教頭を通して交渉済み)
看板, POP, かざりつけ, 商品配置など, 客をひきつけるためのプロの工夫を地元の商店や花巻祭りの屋台などで観察し, 自分達の出店に生かした。

オ 湯口の起業家インタビュー(9月13日)

専門家の話を聞きたい, アドバイスを受けたいという子ども達の願いを受け, 仕入先の3つのお店の代表の方にお越しいただき, いろいろとお話を伺った。どの方も親切丁寧に子ども達にアドバイスをくださった。

澤田圭市さんによる，産直「わく湧く市」を作った理由や農産物の流通（販売の流れ）についてのお話

商品を売るときに心がけていることなど児童の素朴な疑問に答えていただく

商品と価格を最終決定

カ 模擬店（9月14日）

接客のしかた（言葉遣い，笑顔，商品の渡し方などの動き）の事前練習

役割分担の確認

看板，POP，かざりつけなどの確認

キ 金管バンドによるPRパレードと案内チラシの配布（9月16日）

（3）キッズマートを開く（9月18日）【資料】

総代さん方に50年ぶりと言われるほどたくさんの地域のみなさんが集まってくださり，大盛況であった。

子ども達はかなり緊張し，いつもの元気な声が出ていなかったが，最後まで粘り強く販売に多田等観の研究発表によくがんばり成功させた。

【資料 9月19日付 岩手日日新聞1面から】



（4）活動を振り返る

ア 決算（9月26日）

イ 作文による体験のまとめ【資料】と，お礼の手紙（9月26～30日）

ウ 支払い（10月6，7，11日）

エ 学習発表会での総合学習発表「夢～With You Smile～」（10月22日）

オ 作文と自己評価による総合的な学習の時間のまとめ（11月7～11日）【資料】

カ 利益の活用（3学期）

【資料 児童の感想「キッズマートで学んだこと」M.K.(抜粋)】

キッズマートが終わったとき、「ぼく達にも、こんな大変なことができる力があったんだ。また、キッズマートをやりたいなあ。」という気持ちがわきあがってきました。

ぼくは、キッズマートをやって学んだことがたくさんあります。一つ目は、やったことがないこと、つらいこと、苦しいことでも思い切ってチャレンジしてみると、必ず喜びや笑顔になるということです。二つ目は、大変なことをするとき、仲間の協力が絶対に必要だということです。

三つ目は、「湯口の人達は温かい」ということです。ぼく達のキッズマートの呼びかけに、50年ぶりと言われるほど多くのみなさんが観音山に集まってくれました。そして、ぼくが大きな声でチラシを配ったときや商品を渡したときなど、どの人達も、「ありがとうね」とやさしく声をかけてくれました。また、仕入れ先のお店の方々のアドバイスがあったからこそ、キッズマートが大成功したのです。商品を完売したうれしさだけでなく、湯口の人達のやさしさをたくさん感じたキッズマートでもありました。

ぼくはこれからも、キッズマートで学んだことを大切にして、いろいろなことに積極的にチャレンジしていきたいと思います。

【資料 自己評価結果(一部)】

1学期末 学習発表会終了後(%)

項 目	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない
1 自分なりに工夫して取り組むことができる。	8 41%	51 35%	35 22%	6 3%
2 グループの仲間と力を合わせて活動できる。	41 59%	51 46%	8 8%	0 0%
3 失礼のないようなきちんとした取材(話し方)ができる	27 68%	57 27%	16 5%	0 0%
4 大人の人にでも積極的に質問することができる。	11 19%	40 54%	35 19%	14 8%
5 はずかしがらずに、みんなの前で考えを発表できる。	19 24%	32 49%	35 19%	14 8%
6 湯口について興味をもつようになった。	24 32%	41 46%	32 14%	3 8%
7 湯口が好きになった。	27 41%	43 46%	30 13%	0 0%
8 ゆうゆうタイム(キッズマート)をして友達の大切さや協力の大切さが分かるようになった。	19 53%	73 41%	8 3%	0 3%
9 ゆうゆうタイム(キッズマート)をして、以前よりいろいろなことに挑戦する気持ちが強くなった。	8 51%	57 27%	30 17%	5 5%
10 ゆうゆうタイム(キッズマート)には自信がある。	16 38%	38 32%	38 22%	8 8%

(5) その他 トレーディングゲーム(9月28日)



湯口キッズマート



トレーディングゲーム

まとめ

地域のお店をはじめとする多くの地域の方々，保護者の応援や励まし，経済産業省東北経済産業局，花巻市産業部商工労政課，花巻市教育委員会，湯口小教職員のバックアップのお陰で，キッズマートの体験活動を通して，次のような成果と課題を得ることができた。

1 成果

- (1) キッズマートの体験活動を地域の行事と関連させたことにより，「地域のお祭りをみんなの力で盛り上げよう」という一つの目標に向かってどの子ども積極的に行動し，秋祭りもキッズマートも成功を収め，自信をつけることができた。
- (2) 多くの地域の人々と接することにより，人々のやさしさやあたたかさ，地域のすばらしさを肌で感じ，地域の一員としての自覚やふるさとを大切にしようとする心情が育った。
- (3) 「地域のお祭りを盛り上げよう」という目標に向かって共に取り組むうちに，次々に新たな問いが生み出され，活動する中で友達の良さに気づき，仲間意識や連帯感が育った。
- (4) 児童の興味関心や願いを大切にしながら活動を組むことにより，意欲を持続させることができた。
- (5) お店の方々や多くの地域の方々と接することにより，人との接し方やマナーなどコミュニケーション能力を高めることができた。
- (6) 秋祭り当日だけではなく，取り組みのまとめとして学習発表会でキッズマートの成果を演ずることにより，保護者や地域の方々に活動の様子を理解していただくことができた。
- (7) 地域のお店との連携や，地域のお祭りへ積極的にかかわることにより，地域の経済や行事の活性化にもつながったと思われる。
- (8) 地域のために尽くせた喜びや自信が大きく，学校内外の活動にも積極的に参加する児童が増えてきたように思われる。

2 課題

- (1) 陸上記録大会などの取り組みとも時期的に重なってしまい，短期間での慌ただしい活動になってしまった。初めての活動でもあり，時数が多くかかってしまい，計画性が足りなかった。
- (2) キッズマートは多くの地域の方々や教職員の協力が必要になるので，事前の計画と早めの連絡をしっかりとやり，連携を図る必要がある。
- (3) お店から商品を仕入れるだけではなく，地域素材を生かした商品開発にも子ども達がかかわっていけるともっと意欲的になるだろう。
- (4) 3つの起業教育プログラム「キッズマート」「トレーディングゲーム」「ドリームマップ」の活動が効果的につながり合うような年間活動計画の工夫が必要である。